

人と自然と文化が奏でるしあわせハーモニー・酒々井

素顔の 酒々井町

2007 Vol.1 SHISUI



CONTENTS

- 町のプロフィール …………… 1
- 位置と地勢 …………… 1

- ◆いきいき暮らせる町 …………… 2
 - ・生涯学習
 - ・福祉・介護
 - ・健康維持活動
 - ・憩いの場

- ◆活力と活気にあふれる町 …………… 5
 - ・まちづくり基盤
 - ・産業経済の活性化
 - ・町政情報の共有と公開
 - ・住民サービスの向上

- ◆自然災害に強い安心・安全な町 ……11
 - ・防災・防犯体制
 - ・消防・救急体制

- ◆子どもたちが健やかに育つ町 …… 13
 - ・子育て支援

- ◆歴史と文化を大切にした魅力ある町…14
 - ・地域資源の有効活用
 - ・協働のまちづくり

〈酒の井の碑〉

ある孝行息子が見つけた井戸から酒がでてきたことが、酒々井の地名の起源といわれています。酒の井の碑は円福院神宮寺の境内にあり、いつの頃からか親孝行伝説と酒の井伝説を伝承する碑として伝わっています。



町のプロフィール



役場庁舎

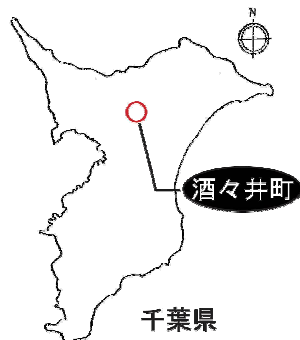
千葉県の北部、北総台地に位置し、都心から50キロメートルの圏内にあって、北西部には印旛沼、東南部には北総台地を配し、緑豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれています。歴史的には、中世室町時代に下総国の守護職であった千葉氏宗家の居城が千葉猪鼻城から酒々井の本佐倉城に移され、以後100年余の間、下総地方を統治する中心的役割を果たしました。江戸時代には佐倉藩に属し、その後城下町として、また、徳川幕府直轄の佐倉牧（野馬牧場）の野馬会所の地として、さらには成田山や芝山参詣客の宿場町として栄えました。そして明治22年に町村制が施行され、近隣16か町村が合併して酒々井町が誕生し、独立独歩の町として現在に至っています。

この間農業を主産業として堅実な発展を遂げてきましたが、鉄道や道路などの優れた都市機能、あるいは首都圏近郊整備地帯、新東京国際空港に隣接するなど好立地条件を備えていたため、昭和40年代後半から50年代にかけて住宅開発とこれに伴う急激な人口増加により、住宅都市へと大きくその姿を変え、それまで6千人台であった町の人口も2万人を超えるまでになりました。

現在、平成19年度からスタートした第4次総合計画の最終基本計画である第3期基本計画に基づき、創意工夫により地域の課題に柔軟に対応していくとともに、地域の特色や資源を活かした個性豊かで魅力と活力にあふれた地域社会を実現していくためのまちづくりを進めています。

～徳川家康の町立てから416年、千葉氏の開府から500有余年の歴史ある町です～

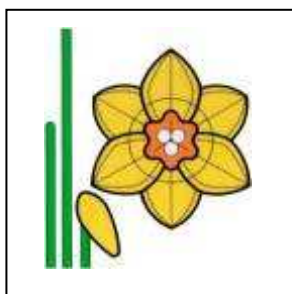
位置と地勢



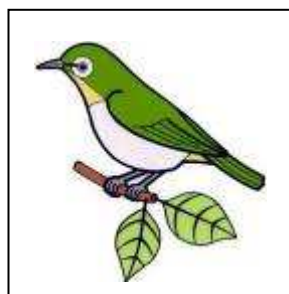
面積／19.02K㎡
広域／東西4.2km、南北6.2km
極東／東経140度18分
極西／東経140度14分
極南／北緯35度41分
極北／北緯35度45分



町の木（梅）



町の花（水仙）



町の鳥（メジロ）

◆いきいき暮らせる町

—健康な心と体でいきいき暮らせるまちづくり—

生涯学習

しすいタウンカレッジ カレッジコース

新しい時代に対応して、活力に満ちた長寿社会を実現するため、町民一人ひとりが地域の構成員として積極的な役割を果たすなど、地域活動やまちづくり活動に参加することが重要となっています。このため、健康や福祉、まちづくりなどの学習を通して地域の発展に寄与することのできる人材の養成を目的に、中央公民館を拠点として3年制のカレッジコースを開校しています。

中央公民館



〈町民の活動拠点施設〉



図書館と文化ホールの
複合施設
プリミエール酒々井

福祉・介護

高齢者福祉（認知症対策）への 新たな取り組み

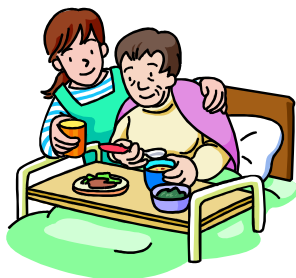
長寿社会に伴い、町においても介護や支援を必要とする高齢者が確実に増えており、いつまでも安心して生活ができるような総合的な保健福祉施策の展開が求められています。なかでも加齢により判断能力が低下する認知症対策は私たちの身近な問題であり重要な施策の一つです。

◆家族介護者教室の開催

認知症に対する理解を進めます

◆生きがいデイサービス事業

認知症にならないように生きがいづくりを進めます



◆介護予防事業の推進

ひとり暮らし高齢者や認知症の方等を把握し、訪問による状態の把握やアドバイス、更には生涯学習や機能訓練などへの参加呼びかけなど認知症の予防を推進します

◆成年後見制度

認知症により判断能力が不十分な方が不利益を被ることのないように選任された成年後見人等がその方を援助する制度です

◆ひとり暮らし高齢者の見回り強化

安心のために、職員が家庭訪問してご要望等をお聞きし、介護保険の活用や必要と思われる各種福祉サービスの紹介を行います

◆いきいき暮らせる町

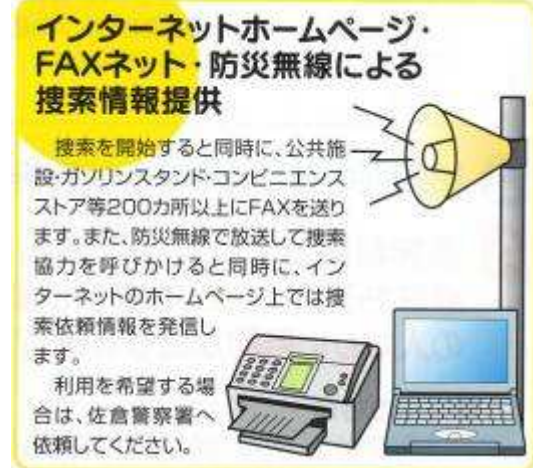
SOS ネットワーク

町では、徘徊等による行方不明者の搜索を、佐倉市、八街市とともに2市1町SOSネットワーク連絡協議会を設立して、行政、警察、消防が一体となって地域の民間団体の協力のもとに、早期発見及び保護に取り組んでいます。

徘徊・迷子に困ったら！

いなくなったお年寄りや障害者を一刻も早く発見・保護するためのシステムです。
みんなでみつける、みんなでさがす。地域ぐるみのネットワークです。

〈システム概要〉



位置情報検索サービス

人工衛星を使った精度の高い測位システム「GPS」等で通信端末機器を持っている方の居場所を見つけるシステムです。

健康維持活動

—健康創造都市宣言の町—

健康ビジョン

健康創造都市に向けた課題を踏まえ、子どもから高齢者までのライフステージについて、身体的・精神的状態に応じて、健康で生き生きと生きがいを持って充実した社会生活を営めるように、一人ひとりの健康感を大切にし、健康的なライフスタイルづくり（ひとの健康づくり）とそれを支援する社会（家庭・学校・職場・地域）の健康づくり・健康的な生活のできる環境づくり（まちの健康づくり）の推進を目的としています。



エコトピア酒々井（特別養護老人ホーム）

◆ひとの健康づくり

町民みんなが健康で生き生きと生きがいのある生活を送るため、個人の主体的な心身の健康づくりを大切にします

◆まちの健康づくり

町民みんなが安全で快適な生活を送るため、よりよい社会的基盤の整備を進めます

◆いきいき暮らせる町

健康づくり

健康ビジョンに基づき、軽スポーツ等を取り入れた運動教室等を開催し、住民参加の健康なまちづくりを推進します。

ボディマネージメントスクール

～楽しくスポーツして

あなたも私も健康に～

順天堂大学を会場に受講者個々の健康・体力測定を行うとともにいくつかのスポーツ実践体験を通じて、健康づくり意識の向上と参加者相互のコミュニケーションづくりを図ることを目的としています。



ボディマネージメントスクール



健康遊具のある公園



足つぼ健康遊歩道

憩いの場

いきいき暮らせる
ステージの創造



総合公園



墨スポーツ広場



上ヶ作緑地

—地域の特性を活かした活力あるまちづくり—

まちづくり基盤

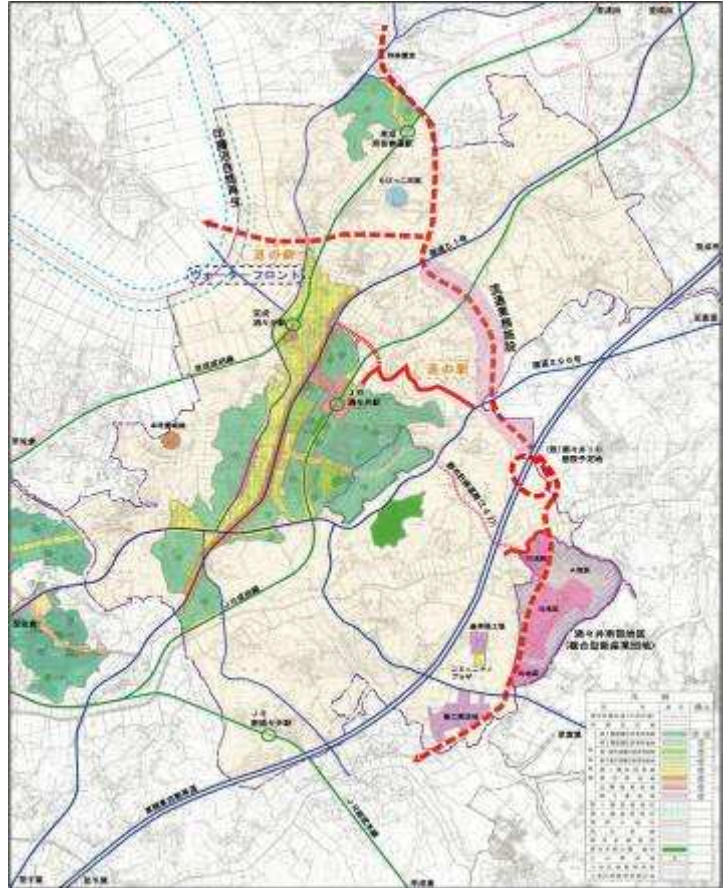
(仮)酒々井 IC 設置と
酒々井南部地区新産業団地

酒々井インターチェンジを核とした企業誘致による産業振興は、町の将来の自主財源の確保、安定財源の確保に不可欠であり、町のイメージアップにつながる確かな企業が多様な業種にわたり必要であると考えています。

このため、地域活性化インターチェンジ制度により開設される酒々井インターを活用し、南側の酒々井南部地区新産業団地については、開発整備によって大規模集客施設の立地に加え、医療・福祉、環境などの21世紀型新産業や先端技術分野の企業誘致を進めるとともに、一部住機能の導入を図ることにより、職住近接型のコンパクトシティを創造するまちづくりを計画しています。また、インター北側の地域については開発規制の緩和による流通業務系の企業誘致を計画しています。

- 効果
- ・ 地域経済の活性化
 - ・ 産業の振興
 - ・ 雇用の確保

地域活性化 IC を活用した酒々井産業振興基本計画



酒々井南部地区新産業団地内イメージ

● 町のイメージは「新産業拠点」と捉える
新たな観光、産業の振興拠点（複合型新産業）
地域活性化のリーディングプロジェクトとしての展開

物流・通販

*例：QVC など

生活文化創造

*家族で楽しめる生活拠点ゆとり
*カルチャーセンターなど店舗以
外の文化に焦点を当てた施設
*近隣町村との相乗効果を期待

健康・スポーツ

* 温浴施設
* フィットネスクラブ等

～「ライフリノベーションコミュニティ」の創造～

大規模集客施設は地域共生型の施設として、来場者の生活課題を解決する

※単に「もの」を提供する場にとどまるのではなく、日々変化する幅広いニーズなど来場者の各々が目指すライフスタイルを実現できるようサポートするコミュニティ施設



東関東自動車道 (仮)酒々井 IC 予定地付近

◆活力と活気にあふれる町



JR酒々井駅



京成酒々井駅



京成酒々井駅自転車駐輪場

快適な
ステージの創造



町を東西に走る国道51号



通勤に利用される快速列車（JR酒々井駅）



ふじき野地区住宅地

◆活力と活気にあふれる町

産業経済の活性化

市民農園

リクリエーションや高齢者の生きがいづくりなど、多様な目的をもつ市民農園。健康的でゆとりある生活を提言します。

町内5箇所、約100区画開設しています。



市民農園（墨地区）

酒々井の地域ブランド

《米の話》

酒々井の米づくりは約二千年、下総台地から湧き出る水が育てた酒々井米は今でも変わることなく豊かに実っています。

平安時代には京都の貴族に送られていた酒々井米。鎌倉時代以降、武士の世となると桓武平氏の出身である千葉氏が領主となり、戦国時代には酒々井に本佐倉城を築き下総地方の首都さけとなった。この頃には豊かな湧水を背景にして「酒の井」伝説も広がっていた。江戸時代、村々の米は佐倉城の米蔵に納められ、上岩橋では殿様への献上米と伝わっている。また、馬橋では清酒を造るようになった。



米 KOME

酒 SAKE

水(湧水) MIZU

ふるさとまつり（毎年11月開催）

中央公民館を会場に、町内で生産された農産物等の展示や即売をする農産物共進会や、町内で生産される商工業品を展示する商工業品展、また同敷地内の特設会場では、野菜、植木などの各種即売会、模擬店やチャリティーバザーなど、家族みんなで楽しめる催し物がいっぱいです。



ふるさとまつり



ミネラルウォーター “しすいの水”



- おいしい水のPR
- 災害備蓄に活用
- 一部販売もしています

◆活力と活気にあふれる町

朝市・朝市まつり

毎週日曜日役場駐車場で市を開いています。地元農家で構成される朝市出展者組合により昭和57年10月より開催されています。市には地元でとれた新鮮な野菜や農産物の加工品が並びます。毎年10月には朝市まつりが開催されます。酒々井の大きな自慢の一つです。



しすいの朝市

飯沼本家・酒々井まがり家

北総台地の中程、酒々井の地は県下きっての湖沼・印旛沼も近く、昔からの穀倉地帯。300年の歴史を誇る、馬橋の蔵元飯沼本家は、森に囲まれた静かな恵まれた環境の中にあります。

酒々井まがり家は、新潟県の旧清野邸を移築したものです。周囲の自然を調和した趣のある家屋の中で、飯沼本家の名酒を味わうことができます。また、2階にあるギャラリーでは、酒々井・その周辺、および千葉県在住の作家作品を中心に広く紹介し、皆様と共に芸術を楽しんでいただけます。



酒々井まがり家

生涯生活センター

農家の女性たちがより良い暮らしをするための知識や技術を習得する場であり、グループ学習や情報交換を行います。また、この施設をとおして地域の人たちとの和を広げるとともに農村に生きる誇りと喜びをもって仲間作りを推進する場として多くの方々にご利用されています。



生涯生活センター

しすい味だより

地域の農産物を加工し、特産品の販売を目指す加工所「しすい味だより」が、平成16年6月1日京成酒々井駅西口駅前にオープン、平成19年4月2日には、千葉県内初の女性組合員による農事組合法人『しすい味だより』が創立しました。加工所では、国産大豆を使ったみそ、豆腐、地元産米の赤飯、山菜おこわ、饅頭、さしみこんにやくなどの商品の製造と直売をします。また、農協直売所でも販売します。



しすい味だよりのメンバー

◆活力と活気にあふれる町

町政情報の共有と公開

各種まちづくり会議の開催

町では、「安心・安全」「自立」「観光振興」など町民公募により各種のまちづくり会議を組織して町民の皆さんのご意見・ご提言をいただき、まちづくりを進めています。

また、わかりやすさを重視した行政資料の提供に努めています。



観光振興のためのまちづくり会議

住民サービスの向上

町長への手紙

町では、「町民参加による町民のためのまちづくり」を進めることを目的に、町民の皆様からご意見やご提言を広くお聞きし、その内容を町政に反映いたします。皆様からの「町長への手紙」をお待ちしています。



町民相談室

町では、町民の皆様からご意見などを伺う総合相談窓口を開設しています。町民からの各種相談等を受け付けお聞きし、その内容に応じて関係各課との調整を行います。

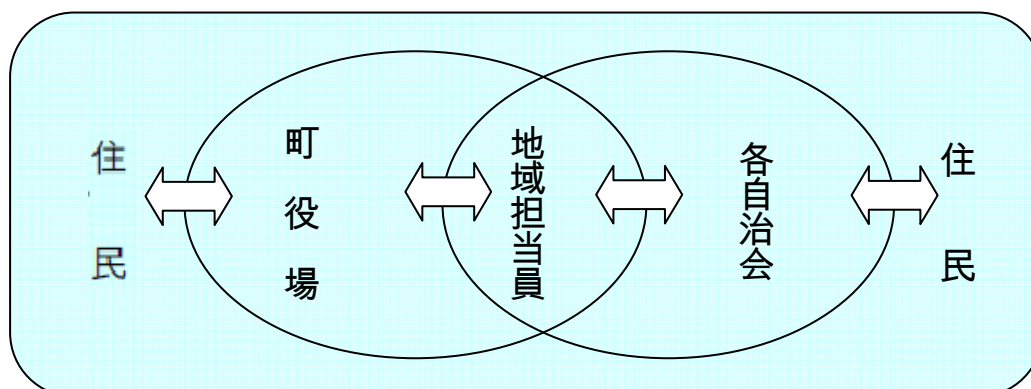
地域担当員制度

行政に対するニーズが多様化し、厳しい社会情勢から、住民の視点に立った行政が求められています。そのため職員と地域が綿密な関係を築き、行政が地域を、地域が行政を理解しそれぞれの地域の取り組みを大切にし、まちづくりを推進しなければなりません。

地域担当員は、地域住民の皆さんと町が情報、課題等を共有し一体となった「協働のまちづくり」を進めることを目的として設置しています。

地域担当員の役割は？

- 1 各区長・自治会長と調整し、必要に応じ自治会等の会合に出席し、地域の課題、要望を把握します。
- 2 行政の立場から課題、要望等に対する解決策を検討しサポートします。
- 3 町行政情報の提供を行います。
- 4 地域の皆さんが行うまちづくり活動の相談、助言を行います。



◆活力と活気にあふれる町

しすい ふれ愛タクシー

町では、社会福祉法人酒々井町社会福祉協議会を運営主体として、高齢者などの交通弱者を含めた全町民を対象として「しすい ふれ愛タクシー」を運行しています。このシステムにより特に高齢者などの外出しやすい環境整備を図ることにより地域間コミュニティの形成や日常生活の利便性の向上を目的として関東圏では初めて導入したデマンド交通システムです。

ご自宅から目的地まで、乗合タクシー方式による送迎サービスを行っております。

また、児童のスクール送迎も兼ねています。皆さんのご利用をお待ちしています。



10人乗2台、15人乗2台 計4台で運行

『しすい ふれ愛タクシー』サービスのご案内

出かけるとき、電話やLモード、Iモード、PC等で「しすいふれ愛タクシー」を予約しますと、ご自宅から希望する目的地までお送りします。また、帰るときは、商店街や病院など指定の場所からご自宅までお送りします。

出かけるとき

①利用者

**利用登録
利用券購入**
電話で予約
☎043(481)6000

今日の0時に自宅から〇〇商店街まで予約します。

②情報センター

予約受付

〇〇さんですね。今日の10時に予約受付完了しました。自宅まで行ってください。

Lモード・インターネットでも24時間申込可能

③利用者宅へ

事前通知
到着数分前にご連絡します。

④目的地へ

商店街へ

病院へ

片道料金
(利用券の事前購入が必要です。)

- 町内 1回のご利用ごとに300円(利用券)
- 病院 (成田日赤病院・日医大北総病院) 1回のご利用ごとに500円(利用券)

帰るとき

①利用者

商店街や病院から電話で予約
☎043(481)6000

今日の0時に〇〇商店街から自宅まで予約します。

②情報センター

予約受付

〇〇さんですね。今日の午後0時に予約受付完了しました。〇〇まで行ってください。

Lモード・インターネットでも24時間申込可能

③商店街・病院から

④利用者宅へ

利用予約 ☎481-6000 (予約は7:30~16:30まで)

- ・時間内でも児童のスクール送迎等によりすぐにお迎えにいけない場合があります。
- ・乗合いタクシーですのでお迎えに行く時間、目的地への到着時間に遅れが生じる場合があります。
- ・お急ぎの場合は、バスや通常のタクシーなどをご利用ください。
- ・運行日 平日(十日祝日を除く)
- ・運行時間 8:00~17:00 *最終乗車16:30

スクールバス運行時刻表
*スクールバス運行時は乗車の利用が優先となります。
*要は運行の日安です。

月・水・金曜日	15:00~15:30
火曜日	15:00~15:30 18:00~18:30
木曜日	14:00~14:30 18:00~18:30

(注)上記時刻は変更する場合がありますので、その都度ご確認ください。

しすいふれ愛タクシーご利用にあたって

- 利用登録簿(回覧、町ホームページで配布)による利用登録と利用券の事前購入が必要です。
- 利用予約は、遅くとも利用予定の30分前までにお願いいたします。
- 「しすい ふれ愛タクシー」は、福祉の人との乗り合わせ利用となります。
- 目的地に直行する通常のタクシーと異なりますので、到着時間に余裕がある場合にご利用ください。

本サービスのお問合せは

社会福祉協議会 ☎043(496)6635
中央台1丁目28番8 (旧千葉信用金庫酒々井支店内)

—安全で安心なまちづくり—

防災・防犯体制

中川の治水対策と水循環系の再生

中川流域の総合的な治水対策は、流域住民の参加協力を得ながら流域住民総ぐるみでの取り組みが必要であり、中川のみならず広く印旛沼流域水循環系再生の視点で進めています。

町内には湧き水が多く、印旛沼に流入する湧き水が少なくなれば水は汚れるため、この湧水量を増やすことにより水質を良くする。個人の住宅や公共施設への雨水浸透枡等の設置により水を自然循環させる仕組みをつくるなど、総合的な治水対策を進めています。



中川流域概要

安全・安心な
ステージの創造



—水辺回廊と歴史拠点の再生による地域づくり—

印旛沼の自然再生とまちづくり

印旛沼流域の住民の力で、かつての印旛沼の姿にもどすことを目標に、印旛沼の自然再生を目指しています。



—水辺が結ぶ酒々井町と印旛沼—



—水辺と遊歩道—



—水辺のオープンカフェ—

◆自然災害に強い安心・安全な町

地域自主組織による防犯活動

しすい防犯パトロール「ブルドックス」は、積極的な防犯活動を行っています。防犯パトロールを通して犯罪の抑止、非行の防止を図るなど健全な地域社会の確立に寄与することを目的に活動を展開しています。

また、事件、事故から子どもたちの安全を守るため通学路におけるスクールガードや特定の地区に関しては、自宅まで同行して児童の安全を守る活動も行っています。



ブルドックスによる駅頭啓発活動

消防・救急体制

ドクターヘリ臨時ヘリポート

ドクターヘリは、救急専用の医療機器を装備し医師・看護師等が搭乗して治療を行いながら、救命センターに短時間で搬送できる医療用ヘリコプターです。

ドクターヘリは要請から3分以内に出動が可能で、酒々井町へは約5分以内に到着できます。町内には臨時ヘリポートが7箇所あります。

- ◆医師による適切な早期治療が可能
- ◆救命率向上・後遺障害軽減



ドクターヘリ（総合公園）

酒々井町消防団

町消防団は全13分団、173人、火災や災害時における地域住民の生命、身体、財産を守るために活躍しており、地域の安全確保に大きな役割を果たしています。また、出水時には水防団としての役割もあります。隣接の佐倉市や印旛村とは相互応援協定を結んでいます。



日頃の訓練成果を披露する消防操法大会



佐倉市八街市酒々井町消防組合 酒々井消防署



子育て支援

放課後子どもプラン

- 放課後子ども教室
小学生全員を対象に勉強やスポーツ・文化活動等を無料で実施します。小学校2校の体育館等を利用し週1回程度の試行を実施
 - 放課後児童クラブ
いわゆる学童保育であり、大室台小学校の利用可能な特別教室を活用し「公設民営」によりH20.1 目途に開設予定
- 民間の創意工夫による学童保育（平成7年より実績12年）もあり、多様な子育てができます。

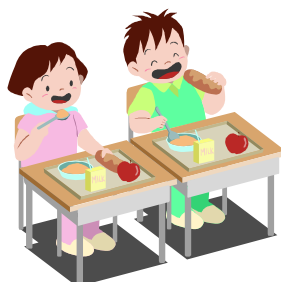


スクールバスとして利用されている いれ愛タクシー

豊かな心と輝く瞳を
育むステージの創造

給食センター

子どもたちに、酒々井産の安全でおいしい米と新鮮な野菜を使用するなど地産地消に努め、生きた食育等に取り組んでいます。



しすい あいあいルーム

親同士が気軽に集い、様々な年齢の子どもたちが楽しく交流できる場所です
あいあいルームはお子さんとおかあさん、おとうさん、おばあちゃん、おじいちゃん皆が集まり、おしゃべりしたり、くつろぐ場所です。
また、子育て中の親同士、地域の皆様とのコミュニケーションが図れる場でもあります。

場 所:役場西庁舎1階
利用時間:9時~16時(月~金 祝祭日除く)



あいあいルームの様子



酒々井町給食センター

◆歴史と文化を大切にした魅力ある町

—歴史や自然など地域資源を活用した魅力あるまちづくり—

地域資源の有効活用

地域資源の有効活用

観光は、商工業や農林水産業に及ぶ裾野の広い21世紀の新産業です。この観光の振興を図るため観光資源の整備を推進しています。

歴史的文化遺産や自然環境を活かした観光施策の推進を進め、地域に点在する既存の名所、旧跡、史跡、民話等の観光資源化を図るなど、地域との協働により地域資源を最大限活用していきます。



約700人が参加したウォーキングイベント
文化庁主催の「歩き・み・ふれる歴史の道in酒々井」

国指定史跡 本佐倉城跡

戦国時代の千葉氏の居城として千葉輔胤により築城され、豊臣秀吉に滅ぼされるまで当主九代が居城し、以後百有余年、下総の国の首府として栄えた重要な文化財であり、平成10年9月に千葉県では唯一国史跡に指定されています。約35haの広大な城域には空堀や土塁などが良く残っており、往時をしのぶことができます。



本佐倉城跡全景（国指定史跡）



魅力ある ステージの創造

酒々井観光ナビ

携帯電話のIT機能を利用して名所、旧跡、施設などを紹介する「酒々井観光ナビ」を提供しています。

町内の約100か所に置かれた標柱などにあるプレートに印刷されたQRコードを携帯電話のカメラで写し取るだけで、ガイドブックを持ち歩かなくとも情報を知ることができます。



＊酒々井観光ナビは、パソコンからも利用できます。
下記のURLにアクセスしてください。

http://www.town.shisui.chiba.jp/navi/mobile/index_pc.html

◆歴史と文化を大切にした魅力ある町

成田街道と酒々井宿

江戸時代、徳川幕府により町立てが行われた酒々井町は佐倉の城下町として、また江戸幕府直轄の「佐倉牧」の野馬会所・御払い場として、さらには成田山や宗吾霊堂、芝山不動尊への参詣客の宿場町として多くの人々ににぎわっていました。



酒々井駅の図「成田参詣記」



山車人形・小野道風

■山車人形・小野道風

山車人形は三代目仲秀英の作で安政六年（1859）、江戸でつくられた貴重な人形です。以前は山車（だし）巡業があり酒々井地区中引き廻した。酒々井の鎮守である下宿の麻賀多神社に納められています。麻賀多神社は印旛郡総鎮守と言われています。



中川の景 三代目広重画 成田土産名所尽

■浄土宗 清光寺(せいこうじ)

本尊は善光寺式三尊仏で正安二年(1300)の紀年銘が刻まれている(県指定文化財)。徳川家康の父廣忠の分骨が安置供養される。江戸時代徳川家から朱印50石を与えられたお寺です。



■町文化財



カンカンム口銅碗



勝福寺・鰐口



本佐倉の庚申塔

■曹洞宗 浄泉寺(じょうせんじ)

本尊は十一面観音座像(室町時代町指定) 応永二十二年(1415) 銘の鑄銅雲板(県指定文化財)、木造正観音立像(室町時代、町指定)など貴重な文化財が伝わるお寺です。



■真言宗 長福寺(ちょうふくじ)

真言宗大仏頂寺の末寺で、本尊は阿弥陀如来です。現在は無住寺となっています。平安時代の木造阿弥陀如来坐像(県指定文化財)、木造持国天・多聞天立像(県指定文化財)などがあります。



■双体道祖神

双体道祖神は長野・山梨・静岡・神奈川・群馬の五県を中心に見られ、他にはあまり類例が見られないというのが定説です。酒々井町にはなぜか8組の双体道祖神があり、県内では珍しいこととして研究者の来訪も多くあります。



根古谷



新堀



中川



柏木



下岩橋



上岩橋



尾上

◆歴史と文化を大切にした魅力ある町

獅子舞の里



上岩橋の獅子舞



県指定文化財 墨の獅子舞



馬橋の獅子舞



パワフルな裸まつり 順天堂大学



眺望がすばらしい 築山
明治天皇が立ち寄られた記念碑があります



酒々井 ちびっこ天国



自然豊かな憩いの印旛沼



推定樹齢750年 飯責の大杉

◆歴史と文化を大切にした魅力ある町

協働のまちづくり

地域の自主的なまちづくり活動

町民の主体性・自主性を尊重しながら、課題や情報を共有しおのおのの役割分担に基づき、協働によるまちづくりを進めています。



町民協働型で運営している
生まれ変わったハーブガーデン



地元酒々井区の皆さんにより整備が進む「酒の井」



ハーブガーデンまつり(毎年5月開催)



サークル 酒・和・花(さわやか)による植栽管理

町民との対話によるまちづくり

わかりやすく親しみやすい行政資料の提供に努め、さまざまな課題を町民と共に考え、広く町民の声をまちづくりに反映していくために、地域座布団集会、各種座談会、政策アドバイザー制度等を行っています。



政策アドバイザー会議の様子

- 編集・発行／酒々井町 総務課秘書室
- 発行日／平成 19 年 11 月

ホームページ <http://www.town.shisui.chiba.jp/>

